

35 歳以下の部 公衆衛生部門

受賞者： すずき えみり 鈴木 恵美里 (31 歳)

東京医科歯科大学医学部附属病院総合教育研修センター
初期研修医



鈴木氏は、公衆衛生分野において「法政策を全世界の共有財産にする」という一貫した姿勢を持ち、その実現のため研究を重ねている。

2012 年に東京大学法学部を卒業後、衆議院法制局に入局し、政策立案の仕事を通じて、日本の立案作業の緻密さを学んだ。一方で、法政策が原則として日本語のみで公表され、海外の立案担当者が日本の政策を自由に参照できないもどかしさを知った。その後、2014 年に東京医科歯科大学医学部医学科 2 年次に学士編入した。2017 年には日本の判例検索システムに着想を得て医療分野における情報共有システムを提言、St. Gallen Symposium の leaders of tomorrow に選出された。また同年東京で行われた Asia Pacific Parliamentarian Forum on Global Health には、WHO Health Law and Ethics のコンサルタントとして参加し、各国の医療提供体制について知見を深めた。

現在は初期臨床研修医として、医療の現場を学ぶとともに、国立保健医療科学院地域保健臨床研修専攻科のプログラムを履修している。Global Health という大きな目標のため、地道な臨床研究やフィールドワークを通じて Health Law の分野を開拓しようと着実な歩みを進めている。

推薦者： 栗原 正利 公益財団法人日産厚生会 医学研究所 所長
田中 雄二郎 東京医科歯科大学 学長
牧島 かれん 衆議院議員